

いぶりの交通安全

胆振の概況2021

- 悲惨な交通事故を減らすために
一人ひとりが、「交通事故を起こさない、交通事故に遭わない」という意識を強く持ち続けていくことが大切です。
事故の無い社会を築いていくため、車を運転するときは速度の出し過ぎによる危険性を認識し、歩行者に対し思いやりのある運転を心がけるよう、交通ルールの遵守や運転マナーの広報・啓発活動に取り組んでいます。

◎第1当事者年齢別事故状況（令和2年・胆振管内）

区分	年齢層	運 転 者							運転者以外	合 計	
		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上			小 計
件数（件）		32	95	78	115	83	93	115	611	13	624
	%	5.1	15.2	12.5	18.4	13.3	14.9	18.4	97.9	2.1	100.0
死者数（人）		3	3	1	4	0	4	0	15	0	15
	%	20.0	20.0	6.7	26.7	0.0	26.7	0.0	100.0	0.0	100.0
傷者数（人）		40	127	86	133	93	99	130	708	13	721
	%	5.5	17.6	11.9	18.4	12.9	13.7	18.0	98.2	1.8	100.0

※第1当事者とは、事故当事者のうち最も過失が重い者をいう。

◎令和2年の交通事故による死者

（単位：人）

全 国	2,839
北 海 道	144
うち高齢者	68
胆 振 管 内	15
うち高齢者	4

※高齢者とは、65歳以上の者を指す。

◎死者数(車両乗車中)のシートベルト・チャイルドシート着用状況

（単位：人）

区分	年	令和元年		令和2年	
		全 道	胆振管内	全 道	胆振管内
着用あり		48	5	29	4
着用なし		28	2	37	5
不明		1	0	1	0
合 計		77	7	67	9

※「着用なし」の中には、シートベルトを着けていれば助かったケースがかなり含まれています。

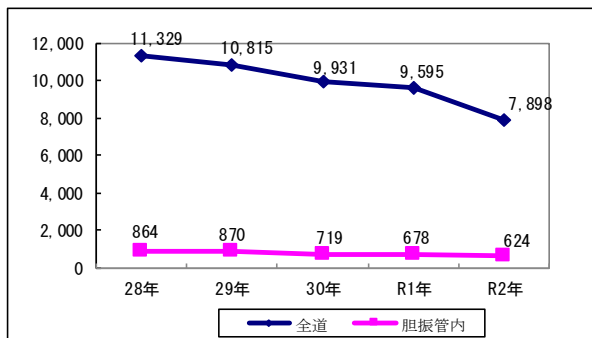
◎原因別交通事故死者数

（単位：人）

	令和元年		令和2年	
	全 道	胆振管内	全 道	胆振管内
車両対歩行者・自転車	56	5	51	5
車両相互（正面衝突等）	58	5	46	9
車両単独（衝突・逸脱等）	37	3	47	1
踏 切	1	0	0	0
合 計	152	13	144	15

◎交通事故発生件数の推移

（単位：件）



◎交通事故死者数の推移

（単位：人）

